

銀行はあなたの会社のココを見ている!

～貸借対照表7つのポイント～

①棚卸資産

高評価・・・基本的に少ない在庫が良いとされる。ただし、業種業態によって異なる。
低評価・・・棚卸金額が年々増加していると、デットストックの存在を疑われる。

②売上債権（受取手形、売掛金など）

高評価・・・おおよそ月商分程度。ただし、季節変動がある場合は前後する。
低評価・・・月商に比べて過剰な場合は貸倒れや延滞債権があるのかと疑われる。

③有形固定資産

高評価・・・正規の減価償却を行っている。
低評価・・・減価償却を行っていない。

④仕入債務（支払手形、買掛金など）

高評価・・・おおよそ1ヶ月の仕入額程度。
低評価・・・仕入額と比較して多すぎると支払に余裕がないのかと疑われる。

⑤借入金

高評価・・・おおよそ月商の3倍程度以内（借入金月商倍率が3倍以内）
低評価・・・借入金の金額が年商を上回る（借入金月商倍率が12倍超）

⑥純資産

高評価・・・※自己資本比率が高く、かつ、利益の蓄積がある。
低評価・・・純資産の額が資本金を下回る、債務超過など。

⑦その他

高評価・・・投資その他の資産が少なく勘定科目も少ない。
低評価・・・役員への貸付金や任意の繰延資産が多い。

貸借対照表

資 産	負 債 (他人資本)
	純資産 (自己資本)

総資本



※自己資本比率(%)=自己資本÷総資本×100